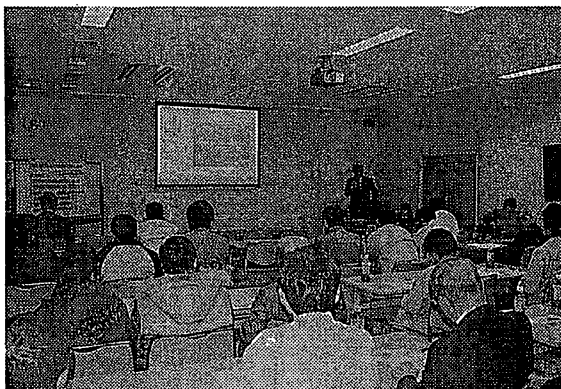


地域資源を技術に活用 地盤工学会九州支部が講演会



【佐賀】社団法人地盤工学会九州支部は22日、地域資源を活用した地盤技術に関する講演会を佐賀大学の菱の実会館で開催し写真した。

講演会には会員ら約30人が出席。温暖化など地球環境の問題が注目される中、土木業界においても環境に配慮した工法の必要性が高まっているとして、「地域資源を活用した地盤技術」をテーマに、佐賀大学低平地研究センターの林重徳教授、佐賀大学理工学部

塚克忠教授、日本建設技術の原裕代表取締役がそれぞれ講演した。

佐賀大学の林氏は、地球温暖化対策(CO₂削減)に貢献する工法として、間伐材を用いた軟弱地盤盛土基礎工法「ラフト&パイル工法」を紹介した。

歴史的土木構造物の木材利用の実例をあげ、「地下水位変動域に深で使用するれば樹種に関わらず高い耐久性が確保できる」とした耐久性や基礎構造などの検証・解析結果を示し、木材

利用の基礎工法を提案。従来工法とのCO₂削減比較や工事費比較などを行い、同工法の実用性を訴えた。

日本建設技術の原氏は、廃ガラスを再資源化した軽量地盤材料「ミラクルソル」を紹介。軽量で強固、吸水性・保水性に優れるという特徴や開発経緯などを説明し、環境土木や環境緑

化、水環境の分野で提案する各種工法の施工事例や効果などを解説した。

佐賀大学の鬼塚氏は、「軟弱な建設発生土・有明粘土の地盤材料化」と題して講演。建設工事に伴って発生する軟弱残土の特性などを明らかにし、道路や盛土材として有効利用する検討結果などを紹介した。

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表 092(431)5361 番
FAX 092(431)7613 番
購読料 1ヵ月 6,300円

北九州支局 TEL093(921)5011
佐賀支局 TEL0952(34)5540
長崎支局 TEL095(827)5595
熊本支局 TEL096(363)1553
大分支局 TEL097(543)5234
宮崎支局 TEL0985(24)6688
鹿児島支局 TEL099(259)3426

<http://www.kyuukennippou.co.jp>